

『ジュニアコンサート in 遺愛』

9月6日（日）14:00より第4回『ジュニアコンサート in 遺愛』を遺愛の講堂で開催しましたところ、12名の小学生の皆さんが参加して下さい、心より嬉しく思いました。遺愛は141年前の開校当初より、音楽教育を大切にしてきた学校です。少しでも道南地域の音楽教育の発展に寄与できればと、このコンサートを4年前に企画しました。今回は全員ピアノで、見事にスタインウェイを弾きこなしていましたが、年によってはバイオリンや声楽などでの出演もあります。来年も多くの小学生がチャレンジして下さいることを期待しています。

今年の6月でしたか、武蔵野音楽大学の先生がいらして、ぜひお読みになって下さいと1冊の本を置いて行かれました。『音大卒は武器になる』という題の本でした。読んでみると、とても面白く、興味深く、音楽をやることにより演奏する力や感性だけでなく、様々な能力が身につくことを知りました。

最近の脳科学の成果として、小さい頃から音楽を始めている人の脳は、普通の人より発達していることがわかってきました。また、コミュニケーション能力も高いようです。マンツーマンのレッスンが音楽では当たり前ですが、嫌でも先生と会話せずにはられません。おのずと年上の人との接し方を学んでいます。時には叱られることもあるかもしれませんが、今の若い人達は叱られた経験が少なく打たれ弱いですが、たぶんちょっとやそつとでめげないと思います。これも素晴らしい力です。また1つの曲を完成するには何度も何度も

粘り強く練習を重ねると思います。この粘り強さも人生にとっては大切なものです。

今回参加の12名の皆さんも日々の音楽練習を通して、ピアノ演奏以外にもたくさんの能力を身につけているということを実感しました。



2015年9月10日（木）